

高等部教育目標	
イエス・キリストを通して、人と世界に仕える使命感と実力を養い、豊かな心と真摯な態度を備えた人格を培う	
探究型カリキュラム教育/学習目標	
SDGs の達成を目指し、Mastery for Service を体現する世界市民の一員として、国内外の社会に自ら関わり貢献できる力を育成する/身につける	
探究型カリキュラムにおける 5 つの学びの方針 Five Principles for Learning	
1. 自分事として <オーナーシップ/一人称>	2. 社会/実践を通して <PBL 型/アクション>
3. 知識を大事に <自ら得る知識/高める関心>	4. コミュニケーションを通して <自分/他者のやりとり>
5. 生徒・教員が共に <共に探究する関係性>	
上位学習目標	
<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・社会で用いられている AI 等のテクノロジーが持つ機能や役割、実例などの基礎的な情報を自分の言葉で説明することができる</li> <li>・簡単なプログラムを使って実際に AI を動かすことができる</li> </ul> <p>【思考力・判断力・表現力】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・社会的課題について調べ、AI 等のテクノロジー活用した解決方法を提案することができる</li> <li>・AI が人々、社会にとって正しく活用されるための倫理的判断をすることができる</li> <li>・テクノロジーが人間個人、社会に与える影響を考察することが出来る</li> <li>・上記事項について、他者に適切に提示/説明することができる</li> </ul> <p>【学びに向かう力・人間性】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・AI や新たな技術開発、イノベーションについてより深く知ろうとし、それをういて解決しようとする姿勢を持つことが出来る</li> <li>・社会的課題に向き合う中で、AI などに代表されるテクノロジーと上手に共生する必要があることに気づき、人間の本来の生き方について追求することができる</li> </ul>	
下位学習目標	
<p>【知識・技能】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>①AI とはどのようなシステム、プログラムで成り立っているのか。AI についての概要を説明できる。</li> <li>②社会で利用されている AI の活用例について知る。</li> <li>③AI に関係するプログラミングについて学び、操作できる。</li> </ol> <p>【思考力・判断力・表現力】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>①SDGs の到達目標達成のため、身近にある解決すべき具体的な課題について現状や原因などを総合的に述べる事ができる</li> <li>②SDGs 到達目標達成のため、身近にある解決すべき問題の解決策を考えることができる</li> <li>③解決策において AI の特性を理解して解決策を考えることができる</li> <li>④グループの考えを他のメンバーにわかりやすく示すことができる</li> <li>⑤他のグループや個人の意見に対して、本質的な質問や議論ができる</li> </ol> <p>【学びに向かう力・人間性】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>①個人の考えをグループで共有しグループとしての考えに昇華・統合できる</li> <li>②AI の利用により発生する倫理的問題について理解し、本質的な議論や対策の検討ができる。(自由やプライバシー、人権などの概念との関連性)</li> </ol>	

授業日	4/18(火)	1 学期授業回数	1 回目 / 全 9 回																																																
本時 学習 目標	主なターゲット【知識・技能】①②③ 【思考力・判断力・表現力】①②③④⑤【学びに向かう力・人間性】①② 本時の具体的な目標 ・「AI とは何か（AI に出来ることできないこと）」について相互授業を行うためのキーワードを考える ・今後実施する学びの記録/様々なグループワークやプレゼン、この授業の目標のについて理解する。 ・																																																		
時間 授業内容	45	3 科目合同オリエンテーション																																																	
	10	AI 活用の授業で目指すべき目標と 1 学期の予定について説明																																																	
	30	「AI と AI 活用人材とは何か」視聴																																																	
	45	グループワーク：AI を説明するためのキーワードを考える 3 つ書き出す ：キーワードを選んだ理由について考える。 各班キーワードを発表：理由と共に 1 枚のカードにまとめる 各班代表が発表する まとめ：「AI の説明に必要なキーワードについて」確認して終了 各班で次回プレゼン資料作成のためのキーワードを確認した。																																																	
評価方法	学びの記録 今回は提出させない。 次回のプレゼンのルーブリック（事前に提示） 4月25日（火）AIとは？ 相互授業評価																																																		
	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th></th> <th>3</th> <th>2</th> <th>1</th> <th>0</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>目的</td> <td>①授業の内容を聞き手に伝えられたか</td> <td>授業の内容を明確に聞き手に示し、完全に聞き手に伝えることができた。</td> <td>授業の内容を聞き手に示し聞き手に伝えられた部分があった</td> <td>授業の内容を聞き手に示したが聞き手に伝えられなかった</td> <td>授業の内容が聞き手に示せなかった</td> </tr> <tr> <td>内容</td> <td>①調査 ②目的に沿っている</td> <td>目的に沿った内容で十分に調べられている テーマに対して、深い理解に基づき材料が準備されている</td> <td>目的に沿った内容で調べられている テーマに対して必要な知識、材料が準備されている</td> <td>内容が不足している テーマに対して知識、材料の準備が不十分</td> <td>内容が全く不足している</td> </tr> <tr> <td>構成</td> <td>①論理性 ②適切な量 ③展開 ④まとめ方</td> <td>十分、論理的に構成されている 導入や展開が非常に効果的、よく工夫されている 簡潔にまとめられている</td> <td>論理的に構成されている まとめが不足している</td> <td>論理的な構成が少し不足している 論理的なつながりが不足している</td> <td>論理的な構成ができていない</td> </tr> <tr> <td>生徒の活動</td> <td>①対象の主体的な学び</td> <td>聞き手の主体的な活動が効果的に組み入れられている</td> <td>聞き手の活動が組み入れられている</td> <td>一方的な知識伝達になっている</td> <td></td> </tr> <tr> <td>資料</td> <td>①文字の大きさ ②図表の的確さ</td> <td>十分に説得力ある資料である</td> <td>説得力ある資料である</td> <td>説得力が不足している</td> <td>説得力がない</td> </tr> <tr> <td>授業姿勢 パフォーマンス 進行</td> <td>①視線 ②声量 ③スピード ④準備</td> <td>堂々と微収を見ながら声量も十分に適切なスピードで授業できた 十分に準備されている 台本などを見ずに進行できている</td> <td>視線や声量、話すスピード共に一定のレベルに達している ひと通りの準備がうかがえる</td> <td>視線、声量、話すスピードを改善する必要がある 進行の準備が不十分である</td> <td>授業をする態度全体を大きく改善する必要がある</td> </tr> <tr> <td>時間</td> <td></td> <td>時間配分が適切である 9分30秒～10分</td> <td>ほぼ時間内である 9分～10分30秒</td> <td>時間が少し超過している、あるいは少し短い ～9分、10分30秒～</td> <td>時間が大幅に超過している あるいは大幅に短い</td> </tr> </tbody> </table>					3	2	1	0	目的	①授業の内容を聞き手に伝えられたか	授業の内容を明確に聞き手に示し、完全に聞き手に伝えることができた。	授業の内容を聞き手に示し聞き手に伝えられた部分があった	授業の内容を聞き手に示したが聞き手に伝えられなかった	授業の内容が聞き手に示せなかった	内容	①調査 ②目的に沿っている	目的に沿った内容で十分に調べられている テーマに対して、深い理解に基づき材料が準備されている	目的に沿った内容で調べられている テーマに対して必要な知識、材料が準備されている	内容が不足している テーマに対して知識、材料の準備が不十分	内容が全く不足している	構成	①論理性 ②適切な量 ③展開 ④まとめ方	十分、論理的に構成されている 導入や展開が非常に効果的、よく工夫されている 簡潔にまとめられている	論理的に構成されている まとめが不足している	論理的な構成が少し不足している 論理的なつながりが不足している	論理的な構成ができていない	生徒の活動	①対象の主体的な学び	聞き手の主体的な活動が効果的に組み入れられている	聞き手の活動が組み入れられている	一方的な知識伝達になっている		資料	①文字の大きさ ②図表の的確さ	十分に説得力ある資料である	説得力ある資料である	説得力が不足している	説得力がない	授業姿勢 パフォーマンス 進行	①視線 ②声量 ③スピード ④準備	堂々と微収を見ながら声量も十分に適切なスピードで授業できた 十分に準備されている 台本などを見ずに進行できている	視線や声量、話すスピード共に一定のレベルに達している ひと通りの準備がうかがえる	視線、声量、話すスピードを改善する必要がある 進行の準備が不十分である	授業をする態度全体を大きく改善する必要がある	時間		時間配分が適切である 9分30秒～10分	ほぼ時間内である 9分～10分30秒	時間が少し超過している、あるいは少し短い ～9分、10分30秒～	時間が大幅に超過している あるいは大幅に短い
		3	2	1	0																																														
目的	①授業の内容を聞き手に伝えられたか	授業の内容を明確に聞き手に示し、完全に聞き手に伝えることができた。	授業の内容を聞き手に示し聞き手に伝えられた部分があった	授業の内容を聞き手に示したが聞き手に伝えられなかった	授業の内容が聞き手に示せなかった																																														
内容	①調査 ②目的に沿っている	目的に沿った内容で十分に調べられている テーマに対して、深い理解に基づき材料が準備されている	目的に沿った内容で調べられている テーマに対して必要な知識、材料が準備されている	内容が不足している テーマに対して知識、材料の準備が不十分	内容が全く不足している																																														
構成	①論理性 ②適切な量 ③展開 ④まとめ方	十分、論理的に構成されている 導入や展開が非常に効果的、よく工夫されている 簡潔にまとめられている	論理的に構成されている まとめが不足している	論理的な構成が少し不足している 論理的なつながりが不足している	論理的な構成ができていない																																														
生徒の活動	①対象の主体的な学び	聞き手の主体的な活動が効果的に組み入れられている	聞き手の活動が組み入れられている	一方的な知識伝達になっている																																															
資料	①文字の大きさ ②図表の的確さ	十分に説得力ある資料である	説得力ある資料である	説得力が不足している	説得力がない																																														
授業姿勢 パフォーマンス 進行	①視線 ②声量 ③スピード ④準備	堂々と微収を見ながら声量も十分に適切なスピードで授業できた 十分に準備されている 台本などを見ずに進行できている	視線や声量、話すスピード共に一定のレベルに達している ひと通りの準備がうかがえる	視線、声量、話すスピードを改善する必要がある 進行の準備が不十分である	授業をする態度全体を大きく改善する必要がある																																														
時間		時間配分が適切である 9分30秒～10分	ほぼ時間内である 9分～10分30秒	時間が少し超過している、あるいは少し短い ～9分、10分30秒～	時間が大幅に超過している あるいは大幅に短い																																														
宿題指示	・各班で選んだキーワードをもとに AI 相互授業のための資料を各自で集める。																																																		

授業日	4/25(火)	1 学期授業回数	2 回目 / 全 9 回
本時 学習 目標	主なターゲット【知識・技能】①②③ 【思考力・判断力・表現力】①②③④⑤【学びに向かう力・人間性】①② 本時の具体的な目標 ・ AI とは何かを理解し、各班で相互授業の資料作成を行うことができる。 ・ 相互授業のルーブリックを理解し、プレゼンテーションの役割分担と準備を協力して行うことができる		

標	
時間	5
授業内容	<p>学びの記録の記入について説明</p> <p>相互授業に向けて持ち時間 10 分の構成と担当決めについて説明</p> <p>前回出した 3 つのキーワードについて調べたことを班内で共有する</p> <p>「AI の相互授業」10 分の構成を決める。各人の発表のテーマと内容を決める。</p> <p>班ごとでの準備を進める。</p> <p>「AI について」教師から AI 関連記事と AI 概要を紹介</p> <p>40 次回の授業に向けて発表資料を作成する 各班 10 分の構成、担当表を提出する</p>

評価方法	学びの記録		
		知識/技術	意見/考察
	A	自分の観点を持って内容を処理、記述している。情報がしっかりと整理されている。	知識と知識/意見/考察が有機的につながる記述が多くみられる。深い洞察とクリエイティブな広がりが見られる。
	B	内容をある一定程度処理、記述している。ある程度情報が整理されている。	多少有機的な考察が見られる。多くが短絡的・表層的な感想や意見、疑問にとどまっている。
C	情報の量/質が不十分である。情報が整理されておらず羅列になっている。	感想や意見、疑問の量/質が不十分である。	

次回のプレゼンのルーブリック（事前に提示）

4月25日（火）AIとは？ 相互授業評価

		3	2	1	0
目的	①授業の内容を聞き手に伝えられたか	授業の内容を明確に聞き手に示し、完全に聞き手に伝えることができた。	授業の内容を聞き手に示し聞き手に伝えられた部分があった	授業の内容を聞き手に示せたが聞き手に伝えられなかった	授業の内容が聞き手に示せなかった
内容	①調査 ②目的に沿っている	目的に沿った内容で十分に調べられている テーマに対して、深い理解に基づき材料が準備されている	目的に沿った内容で調べられている テーマに対して必要な知識、材料が準備されている	内容が不足している テーマに対して知識、材料の準備が不十分	内容が全く不足している
構成	①論理性 ②適切な量 ③展開 ④まとめ方	十分、論理的に構成されている 導入や展開が非常に効果的、よく工夫されている 簡潔にまとめられている	論理的に構成されている まとめが不足している	論理的な構成が少し不足している 論理的なつながりが不足している	論理的な構成ができていない
生徒の活動	①対象の主体的な学び	聞き手の主体的な活動が効果的に組み入れられている	聞き手の活動は組み入れられている	一方的な知識伝達になっている	
資料	①文字の大きさ ②図表の的確さ	十分に説得力ある資料である	説得力ある資料である	説得力が不足している	説得力がない
授業姿勢 パフォーマンス 進行	①視線 ②声量 ③スピード ④準備	堂々と微取を見ながら声量も十分に適切なスピードで授業できた 十分に準備されている 台本などを見ずに進行できている	視線や声量、話すスピード共に一定のレベルに達している ひと通りの準備がうかがえる	視線、声量、話すスピードを改善する必要がある 進行の準備が不十分である	授業をする態度全体を大きく改善する必要がある
時間		時間配分が適切である 9分30秒～10分	ほぼ時間内である 9分～10分30秒	時間が少し超過している、あるいは少し短い ～9分、10分30秒～	時間が大幅に超過している あるいは大幅に短い

宿題指示	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 5月9日の「AIについて相互授業」10分のスライドの作成と授業ができるように準備を終えておく。</li> <li>・ 5月9日の「AIについて相互授業」10分の構成と役割分担の用紙提出(授業終了までに、各班ごと1枚)</li> <li>・ 各自学びの記録を翌日昼休みまでに提出</li> </ul>
------	--

授業日	5/9(火)	1 学期授業回数	3 回目 / 全 9 回
-----	--------	----------	--------------

本時学習目標	主なターゲット【知識・技能】①②③ 【思考力・判断力・表現力】①②③④⑤ 【学びに向かう力・人間性】①② 本時の具体的な目標 ・ AI の基礎的な理解のために、グループで情報収集・論理的な組み立てを行い、効果的な発表ができる ・ 同じテーマに取り組んだ他のグループの発表を通じ、AI の基礎について多面的に理解する ・ 他のグループの発表に対して、自分の AI に対する理解と比較しつつ、質問することができる。
--------	---

時間	5 分	前回授業の学びの記録返却と記述についての説明 フィードバック
授業内容	90 分	AI 相互授業のタイムテーブル説明 各班順番に AI の相互授業 10 分ずつ行う 発表後 7 分程度、生徒・教員からの質疑応答 全 5 班の授業を行った。

評価方法	4月25日(火) AIとは? 相互授業評価				
		3	2	1	0
	目的	①授業の内容を聞き手に伝えられたか 授業の内容を明確に聞き手に示し、完全に聞き手に伝えることができた。	①授業の内容を聞き手に示し聞き手に伝えられた部分があった	①授業の内容を聞き手に示せたが聞き手に伝えられなかった	①授業の内容が聞き手に示せなかった
	内容	①調査 ②目的に沿っている 目的に沿った内容で十分に調べられている テーマに対して、深い理解に基づき材料が準備されている	①調査 ②目的に沿っている 目的に沿った内容で調べられている テーマに対して必要な知識、材料が準備されている	①調査 ②目的に沿っている 内容が不足している テーマに対して知識、材料の準備が不十分	①調査 ②目的に沿っている 内容が全く不足している
	構成	①論理性 ②適切な量 ③展開 ④まとめ方 十分、論理的に構成されている 導入や展開が非常に効果的、よく工夫されている 簡潔にまとめられている	①論理性 ②適切な量 ③展開 ④まとめ方 論理的に構成されている まとめが不足している	①論理性 ②適切な量 ③展開 ④まとめ方 論理的な構成が少し不足している 論理的なつながりが不足している	①論理性 ②適切な量 ③展開 ④まとめ方 論理的な構成ができていない
	生徒の活動	①対象の主体的な学び 聞き手の主体的な活動が効果的に組み入れられている	①対象の主体的な学び 聞き手の活動は組み入れられている	①対象の主体的な学び 一方的な知識伝達になっている	①対象の主体的な学び 聞き手の活動がほとんど見られない
	資料	①文字の大きさ ②図表の的確さ 十分に説得力ある資料である	①文字の大きさ ②図表の的確さ 説得力ある資料である	①文字の大きさ ②図表の的確さ 説得力が不足している	①文字の大きさ ②図表の的確さ 説得力がない
	授業姿勢パフォーマンス 進行	①視線 ②声量 ③スピード ④準備 堂々と微笑を見ながら声量も十分に適切なスピードで授業できた 十分に準備されている 台本などを見ずに進んできている	①視線や声量、話すスピード共に一定のレベルに達している ひと通りの準備がうかがえる	①視線、声量、話すスピードを改善する必要がある 進捗の準備が不十分である	①授業をする態度全体を大きく改善する必要がある
	時間	時間配分が適切である 9分30秒～10分	ほぼ時間内である 9分～10分30秒	時間が少し超過している、あるいは少し短い ～9分、10分30秒～	時間が大幅に超過している あるいは大幅に短い
	宿題指示	「学びの記録」を週末金曜日までに提出する。 今回は発表を聞く生徒には、発表内容に集中させるためルーブリックによる評価はさせていない。			

授業日	5/23(火)	1 学期授業回数	4 回目 / 全 9 回
本時 学習目標	主なターゲット【知識・技能】①②③ 【思考力・判断力・表現力】①②③④⑤【学びに向かう力・人間性】①② 本時の具体的な目標 ・国際子ども平和賞受賞者の川崎レナ産の講演から、同年代のリーダーの考え方を知る ・AI 活用の授業にも共通する現代社会の問題について気づき考えることができるようになる。		
時間 授業内容	45 90	川崎レナさんの講演 集団における話し合いの方法 ワークショップ	
評価方法	学びの記録 講演とワークショップを通じてどのような気づきがあったのか、何を学ぶことができたのかを評価する。		
評価方法	学びの記録	知識/技能	意見/考察
A	自分の観点を持って内容を処理、記述している。 上方がしっかりと整理されている。		知識と知識/意見/考察が有機的につながる記述多く見られる。 深い洞察とクリエイティブな広がりが見られる。
B	内容をある一定程度処理、記述している。 ある程度情報が整理されている。		多少有機的な考察が見られる。 多くが短絡的・表層的な感想や意見、疑問にとどまっている。
C	情報の量/質が不十分である。 情報が整理されておらず羅列になっている。		感想や意見、疑問の量/質が不十分である。
宿題 指示	学びの記録を翌日までに提出する		

授業日	5/30(火)	1 学期授業回数	5 回目 / 全 9 回
本時 学習目標	主なターゲット【知識・技能】② 【思考力・判断力・表現力】①②④【学びに向かう力・人間性】①② 本時の具体的な目標 ・技術が人や社会をどう変えるのか、というテーマに対し、歴史的な側面から学ぶ ・現在進行形の超スマート社会で、社会がどう変わるのかを具体的に考える		
時間 授業内容	10 25 10 35 10	5/9 のプレゼン、学びの記録についてのフィードバック 19 世紀イギリスの産業革命で社会はどう変わったのか、グループでリサーチしてまとめる イギリスの産業革命による社会の変化について学ぶ Society5.0 で社会はどう変わるのかについてグループで考えまとめる 各グループのまとめを共有する	
評価方法	後日提出の学びの記録		
宿題指示	学びの記録		

授業日	6/6(火)	1 学期授業回数	6 回目 / 全 9 回
本時 学習目標	主なターゲット【知識・技能】①② 【思考力・判断力・表現力】①②③④⑤【学びに向かう力・人間性】①② ----- 本時の具体的な目標 ・実際に ChatGPT(生成 AI)を使用して、作成された文章からその特徴や影響について考察できる。 ・生成 AI が社会に与える影響について、自分で考え、さらにグループで議論することで、自分の考えを深めることができる。		
時間	10 分	前回授業の振り返り	
授業内容	50 分	ChatGPT に各班からの質問を入力して、作成される文章を全員で共有した。	
	80 分	巳波教授の生成 AI についての動画視聴	
	100 分	各班にて生成 AI が社会に与える影響について議論 発表	
評価方法	ChatGPT について気づいたこと感じたことと 生成 AI が社会に与える影響について レポートを評価する。		
宿題指示	金曜日までにレポートを提出		

授業日	6/15(木)	1 学期授業回数	7 回目 / 全 9 回
本時 学習目標	主なターゲット【知識・技能】①②③ 【思考力・判断力・表現力】①②③④⑤【学びに向かう力・人間性】①② ----- 本時の具体的な目標 ・AI についての概要と基礎知識が習得できていることを確認する ・会社訪問に向け、訪問する企業について詳しく知る。企業が AI をどのように製品に生かしているかを調査し、訪問時の質問について考える。		
時間	10 分	前回授業のフィードバック	
授業内容	15 分	次回企業訪問の予定説明	
	45 分	AI に関する小テスト実施	
	90 分	新明和工業の事業内容について班ごとに調査、カードにまとめる。 企業訪問時に質問したい内容をまとめる。	
評価方法	・小テスト 80 点の得点 ・新明和工業についてのまとめカードを提出させて評価する。 ・企業で、AI がどのように利用されているか、また、当日質問したいことをカードに記入し提出する。 (時間内で)		
宿題指示			

授業日	6/20(火)	1 学期授業回数	8 回目 / 全 9 回												
本時 学 習目標	主なターゲット【知識・技能】①②③ 【思考力・判断力・表現力】①②③④⑤【学びに向かう力・人間性】①② 本時の具体的な目標 ・新明和工業を訪問して、航空機をはじめ特装車(塵芥車)やパーキングシステム、において製造する製品にA I 技術がどのように生かされているのか、担当者より直接説明を聞くことでA I 活用の現状を把握する。 ・A I 開発担当者による、A I 活用についての講義を受け、A I についての知識を拡げる。														
時間 授業内 容	40 分 90 分 110 分	新明和工業の事業紹介 A I 活用に関する講義 新明和でのA I 活用事例の紹介 質疑応答													
評価方 法	当日の学びの記録を評価 評価方法 学びの記録 <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th></th> <th>知識/技能</th> <th>意見/考察</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>A</td> <td>自分の観点を持って内容を処理、記述している。 上方がしっかりと整理されている。</td> <td>知識と知識/意見/考察が有機的につながる記述多く見られる。 深い洞察とクリエイティブな広がりが見られる。</td> </tr> <tr> <td>B</td> <td>内容のある一定程度処理、記述している。 ある程度情報が整理されている。</td> <td>多少有機的な考察が見られる。 多くが短絡的・表層的な感想や意見、疑問にとどまっている。</td> </tr> <tr> <td>C</td> <td>情報の量/質が不十分である。 情報が整理されておらず羅列になっている。</td> <td>感想や意見、疑問の量/質が不十分である。</td> </tr> </tbody> </table>				知識/技能	意見/考察	A	自分の観点を持って内容を処理、記述している。 上方がしっかりと整理されている。	知識と知識/意見/考察が有機的につながる記述多く見られる。 深い洞察とクリエイティブな広がりが見られる。	B	内容のある一定程度処理、記述している。 ある程度情報が整理されている。	多少有機的な考察が見られる。 多くが短絡的・表層的な感想や意見、疑問にとどまっている。	C	情報の量/質が不十分である。 情報が整理されておらず羅列になっている。	感想や意見、疑問の量/質が不十分である。
	知識/技能	意見/考察													
A	自分の観点を持って内容を処理、記述している。 上方がしっかりと整理されている。	知識と知識/意見/考察が有機的につながる記述多く見られる。 深い洞察とクリエイティブな広がりが見られる。													
B	内容のある一定程度処理、記述している。 ある程度情報が整理されている。	多少有機的な考察が見られる。 多くが短絡的・表層的な感想や意見、疑問にとどまっている。													
C	情報の量/質が不十分である。 情報が整理されておらず羅列になっている。	感想や意見、疑問の量/質が不十分である。													
宿題指 示	学びの記録を今週中に提出する														

授業日	6/27(火)	1 学期授業回数	9 回目 / 全 9 回
本時 学 習目標	主なターゲット【知識・技能】①②③ 【思考力・判断力・表現力】①②③④⑤【学びに向かう力・人間性】①② 本時の具体的な目標 ・1 学期間の学びを総括して AI が人と社会をどのように変えるかについて考察することができる。 ・AI 活用人材に求められる能力について自分の意見をまとめることができる。		
時間 授業内容	5 分 20 分 90 分	小試験の返却 新明和訪問の学びの記録返却 グループに分かれて 1 学期のまとめレポートをどの観点でまとめるか各自 2 分で発表 各自で 1 学期のまとめレポート作成 テーマ「AI で人・社会がどう変わるのかを踏まえ、あなたが考える AI 活用人材に求められる力について」	
評価方法	内容 ・1 学期の学びを総括して、"AI で人・社会はどう変わるのか"について自身で改めてまとめる ・それを踏まえたうえで、AI 活用人材=これからの AI がある社会を生きていくのに必要な力についてまとめる 評価の視点 ・リサーチや考察に根拠や説得力があるか ・自身の考察に軸となるテーマがあるか(AI について考える際に、自分なりに重要と考える、関心のあるキーワードがあるか、それがレポート全体に貫かれているか) ・着眼点や発想の独自性があるか ・考察の深さ(表面的な感想ではなく、深さや広がりのある考察かどうか) ・自身のメッセージを伝えるのに必要十分な分量があるか ・1 学期の様々な学びが活かされているか ←追加		
宿題指示	7月7日までにワードで作成したレポートを提出する。		

授業日	9/5(火)	2 学期授業回数	1 回目 / 全 9 回																											
本時 学習目標	主なターゲット【知識・技能】①②③ 【思考力・判断力・表現力】①②③④⑤【学びに向かう力・人間性】①② 本時の具体的な目標 ・夏休みに個人が取り組んだ課題について班ごとで報告してから全員の前で発表することで共有する ・AI 活用の授業 2 学期の取り組みについての目標を理解する。 <2 学期 授業計画> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 10%;">9/5</td> <td>夏休み課題から学んだことを共有(バイソン、文献) 課題：AI 開発の規制に関するニュースを 3 つ集める</td> <td></td> </tr> <tr> <td>9/12</td> <td>◆ディスカッション「AI 開発は規制すべきか」</td> <td style="text-align: right;">[学びの記録#1] 提出</td> </tr> <tr> <td>9/26</td> <td>AI プログラミング体験①(関西学院大学工学部已波ゼミ)</td> <td style="text-align: right;">[学びの記録#2] 提出</td> </tr> <tr> <td>10/3</td> <td>AI プログラミング体験②(関西学院大学工学部已波ゼミ)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>10/17</td> <td>AI プログラミング体験③(関西学院大学工学部已波ゼミ)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>10/24</td> <td>1 年生必修選択説明会向け授業紹介動画作成(計画)</td> <td style="text-align: right;">[学びの記録#3] 提出</td> </tr> <tr> <td>11/14</td> <td>テクノロジーと国家(講義)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>11/21</td> <td>◆テクノロジーと国家(ディスカッション)</td> <td style="text-align: right;">[学びの記録#4] 提出</td> </tr> <tr> <td>11/28</td> <td>2 学期のまとめレポート作成</td> <td style="text-align: right;">[個人レポート] ※提出は後日</td> </tr> </table> <p>評価対象：◆グループ活動×2          学びの記録×4          個人レポート ※1 学期のまとめ 詳細は後日お知らせします 提出日は期末試験最終日(予定)</p>			9/5	夏休み課題から学んだことを共有(バイソン、文献) 課題：AI 開発の規制に関するニュースを 3 つ集める		9/12	◆ディスカッション「AI 開発は規制すべきか」	[学びの記録#1] 提出	9/26	AI プログラミング体験①(関西学院大学工学部已波ゼミ)	[学びの記録#2] 提出	10/3	AI プログラミング体験②(関西学院大学工学部已波ゼミ)		10/17	AI プログラミング体験③(関西学院大学工学部已波ゼミ)		10/24	1 年生必修選択説明会向け授業紹介動画作成(計画)	[学びの記録#3] 提出	11/14	テクノロジーと国家(講義)		11/21	◆テクノロジーと国家(ディスカッション)	[学びの記録#4] 提出	11/28	2 学期のまとめレポート作成	[個人レポート] ※提出は後日
9/5	夏休み課題から学んだことを共有(バイソン、文献) 課題：AI 開発の規制に関するニュースを 3 つ集める																													
9/12	◆ディスカッション「AI 開発は規制すべきか」	[学びの記録#1] 提出																												
9/26	AI プログラミング体験①(関西学院大学工学部已波ゼミ)	[学びの記録#2] 提出																												
10/3	AI プログラミング体験②(関西学院大学工学部已波ゼミ)																													
10/17	AI プログラミング体験③(関西学院大学工学部已波ゼミ)																													
10/24	1 年生必修選択説明会向け授業紹介動画作成(計画)	[学びの記録#3] 提出																												
11/14	テクノロジーと国家(講義)																													
11/21	◆テクノロジーと国家(ディスカッション)	[学びの記録#4] 提出																												
11/28	2 学期のまとめレポート作成	[個人レポート] ※提出は後日																												
時間	10 分	2 学期 9 回の授業予定について説明																												
授業内容	45 分	5 人一組 5 班に分かれて夏休みの課題についてお互いに報告。																												
	80 分	全員が自身の課題の報告と班の他の人の取り組みで関心を持ったことを発表																												
	90 分	次回授業 AI 技術導入に関するニュース記事を 3 つピックアップする宿題について説明																												
評価方法	夏の課題 AI に関する本のまとめ提出 OR python1 年生を読み終えて数字認識のプログラムを完成させる																													
宿題指示	AI の技術開発を進めるうえでの問題点に関するニュース記事を 3 つピックアップする																													

授業日	9/12(火)	2 学期授業回数	2 回目 / 全 9 回
本時 学習目標	主なターゲット【知識・技能】①② 【思考力・判断力・表現力】①②③④⑤【学びに向かう力・人間性】①② 本時の具体的な目標 ・日々刻々と変化する AI を取り巻く状況に意識を持つ ・AI の特性やメリット・デメリットを認識したうえで、AI の開発や利用を規制すべきかについて自身の考えを持つ		
時間	10 分	学びの記録返却、本時の内容説明	
授業内容	25 分	グループで事前学習の内容と個人の意見を共有する	
	30 分	グループで AI の開発・利用の規制についてまとめ、発表の準備	
	25 分	各グループ 3 分で発表	
評価方法	発表の内容(範囲・対象の絞り込み、考察の深さ・根拠)		
宿題指示	学びの記録提出		

授業日	9/26(火)	2 学期授業回数	3 回目 / 全 9 回
本時 学習目標	主なターゲット【知識・技能】①②③ 【思考力・判断力・表現力】①②③④⑤【学びに向かう力・人間性】①②		
	本時の具体的な目標 ・ 図形を認識する AI ブロックを用いてどのようなアプリができるのかを考える。 ・ 実際にプログラムを組むためのアイデアを共有して具体化することができる。		
時間 授業内容	10 分	関西学院大学工学部情報工学課程の学生より図形を認識する AI について説明	
	30 分	各自 PC のセッティングと scratch の説明動画にて作業についての説明	
	40 分	大学 巳波教授より本授業の目標について説明（オンラインにて）	
	90 分	画像認識の AI ブロックを用いて具体的にどのようなプログラムを作成できるか 3 人一組で話し合い。次回作業に向けてアイデアを固める。	
評価方法	今回は途中経過のため第 3 回目の各班のアプリ発表内容にて評価予定		
宿題指示	次回 scratch にてプログラムを組むためのアイデアについて班でまとめておく。		

授業日	10/3(火)	2 学期授業回数	4 回目 / 全 9 回
本時 学習目標	主なターゲット【知識・技能】①②③ 【思考力・判断力・表現力】①②③【学びに向かう力・人間性】①②		
	本時の具体的な目標 ・ 図形を認識する AI ブロックを用いてどのようなアプリができるのかを考える。 ・ 実際にプログラムを組むためのアイデアを共有して具体化することができる。 ・ 誰をターゲットにするのか、どのような利便性のあるのか、アプリを作成する目的を明確にできる。		
時間 授業内容	10 分	前回授業に作成した Scratch のデータと配布と PC セッティング	
	45 分	アプリの企画書と遷移図の作成と並行してプログラムの作成	
	60 分	各班の進捗状況の報告(各班 2 分)	
	80 分	作業の継続	
	90 分	次回、授業にて作成したアプリの内容の発表について説明。企画書、遷移図、データの回収	
評価方法	次回のアプリの発表にて評価		
宿題指示	各班、制作したアプリについて 3 分で発表するためのプレゼンの用意をしておくこと		

授業日	10/17(火)	2 学期授業回数	5 回目 / 全 9 回
本時 学習目 標	主なターゲット【知識・技能】①②③ 【思考力・判断力・表現力】②③④⑤【学びに向かう力・人間性】①②		
	本時の具体的な目標 ・ 実際に操作することを通じ、AI の基本的なしくみを知る ・ 図形を認識する AI ブロックを用いたアプリを計画し、アプリの構造や画面の遷移を論理的に考えることができる ・ アプリをどのようなターゲットにどのようなメリットをもたらせるか考えることができる		
時間 授業内 容	25 分	各班でプレゼンの最終準備	
	75 分	各班 3 分でアプリについてプレゼンと質疑 5 分×8 班	
	90 分	関西学院大学 巳波教授とゼミ学生による総評	

評価方法	10月17日(火) 画像認識AIブロックを用いたアプリの作成 発表					
		3	2	1	0	
	目的	①アプリを使用する 目的を示すことができた	対象者ははっきりと示し、 アプリによって達成する目的を明確に 説明できた。	対象者はあいまいだが アプリにより達成する目的は明確に 説明できた	対象者ははっきりと示せたが アプリによる目的があいまいであった。	対象者があいまいで、 アプリにより達成する目的も 説明できていない
	内容	①調査 ②目的に沿っている	目的を達成するための適切なアプリ 作成できた。	目的を達成するための適切なアプリ だが、完成に至らなかった	目的を達成するための適切なアプリ ではないが、アプリは完成できた	目的を達成するための適切なアプリ 出なく、アプリも完成できていない
	構成	①論理性 ②適切な量	十分、論理的に構成されている	論理的に構成されている	論理的な構成が少し不足している	論理的な構成ができていない
	プレゼン 資料	①文字の大きさ ②図表的的確さ	十分に説得力ある資料である	説得力ある資料である	説得力が不足している	説得力がない
	プレゼン 姿勢	①視線 ②声量 ③スピード	堂々と視線を見ながら声量も 十分に適切なスピードで授業できた	視線や声量、話すスピード共に 一定のレベルに達している	視線、声量、話すスピードを改善 する必要がある	授業をする態度全体を大きく改善する 必要がある
	時間		時間配分が適切である	ほぼ時間内である	時間が少し超過している、あるいは 少し短い	時間が大幅に超過している あるいは大幅に短い
上記のルーブリックによるプレゼンの評価と学びの記録						
宿題指示	学びの記録の提出					

授業日	10/24(火)	2 学期授業回数	6 回目 / 全 9 回
本時 学習目標	主なターゲット【知識・技能】①② 【思考力・判断力・表現力】①②③④ 【学びに向かう力・人間性】①② ----- 本時の具体的な目標 ・改めて AI の持つ特徴や課題を認識することができる ・自分事として AI 活用について学ぶ意味、目的を改めて認識し、整理することができる ・AI 活用について学ぶ意味を、他者に効果的に伝えられる表現を考えることができる		
時間	10 分	これまでの AI 活用の授業を振り返り、授業の目的を再確認する	
授業内容	80 分	1 年生向けの必修選択説明会で用いる AI 活用の授業 PR 動画を作成するにあたり、動画の目的やメッセージを明確にし、それに必要な表現や構成を考える	
評価方法	計画シート		
宿題指示	動画作成の具体的な準備		

授業日	11/14(火)	2 学期授業回数	7 回目 / 全 9 回
本時 学習目標	主なターゲット【知識・技能】①② 【思考力・判断力・表現力】①②③ 【学びに向かう力・人間性】①② ----- 本時の具体的な目標 ・テクノロジーが社会を変える、世界の動向にも影響することを学ぶ ・中国を事例に、AI をはじめとする先端技術と社会の在り方との関わりについて学ぶ ・欧米と中国との技術競争の背後に、テクノロジーや社会に対する基本的な価値観の差が関係していることを学ぶ		
時間	45 分	・講義 中国の歴史、経済・政治のしくみについて	
授業内容	40 分	・講義 中国の成長とテクノロジーの関係、中国の AI 活用について	
	5 分	・本時ならびに 2 学期のまとめの課題について説明	
評価方法	(今日提示した課題について)関心のリサーチとそれに対する考察		
宿題指示	今日の内容で関心のあることについてリサーチを加え、それについて考察する		

授業日	11/21(火)	2 学期授業回数	8 回目 / 全 9 回
本時 学習目標	主なターゲット【知識・技能】①② 【思考力・判断力・表現力】①②③④⑤【学びに向かう力・人間性】①②		
	本時の具体的な目標 ・1年生向けの必修選択授業説明時に使用する AI 活用の授業紹介動画作成を通じ、AI の特徴、社会と AI、AI を学ぶ意味などを改めて考え直す。 ・1年生に向けた授業の意義を効果的に伝えられる表現方法をグループ内で話し合い、実践する。		
時間	5 分	説明	
授業内容	85 分	作業	
評価方法	どの動画を選ぶか次回の授業時に相互に決める		
宿題指示	次週までに動画を完成させ提出		

授業日	11/28(火)	2 学期授業回数	9 回目 / 全 9 回
本時 学習目標	主なターゲット【知識・技能】①②③ 【思考力・判断力・表現力】①②③④⑤【学びに向かう力・人間性】①②		
	本時の具体的な目標 ・1年生向けの授業紹介動画をお互いに共有し、授業の狙いや AI 活用について学ぶ意義を再確認する。 ・授業の狙いや学ぶ意義を効果的に伝える表現方法について、動画を共有することで考える機会とする。 ・2学期のまとめレポートについて、お互いに考えていることを共有し、互いに意見交換することで、深い考察ができるようにする。		
時間 授業内容	45 分	グループごとに、コンセプトや苦労した点などを踏まえ、作成した動画を視聴する。	
	10 分	2 学期まとめレポートの概要についてグループで共有し、意見交換をする。	
	35 分	個人で 2 学期のまとめレポートを作成する	
評価方法	2 学期まとめレポートについては、AI に必要なデータ、AI 作成の目的(社会課題)、先行事例の分析などにおいて事例のリサーチ、分析や考察の深さについて評価		
宿題指示	2 学期まとめレポートは 12 月 4 日(月)までに提出		

授業日	1/16(火)	3 学期授業回数	1 回目 / 全 6 回
本時 学習目標	主なターゲット【知識・技能】①②③ 【思考力・判断力・表現力】①②③④⑤【学びに向かう力・人間性】①②		
	本時の具体的な目標 ・冬休み課題を共有して「AI が産業をどのように変化させるか」について班ごとで共通点、相違点を見出すことができる。 ・ピア・ティーチングに向け 4 班に分かれてテーマと伝えるべき内容・方法について考察し、議論できる。		
時間 授業内容	45 分	5 班に分かれ、冬休みの課題を班内で共有する。その後、AI が産業に与える影響について産業ごとの共通点と相違点についてまとめる。各班で 2 分にまとめた内容を発表し、共有する。	
	60 分	冬休み課題のピア・ティーチングの内容と形式を共有して、同じ考えの者で 4 つの班に分かれる。その後、班ごとに発表のテーマと内容、形式、分担の原案作成を行う。	
	90 分		

	<p>&lt;3 学期 授業計画&gt;</p> <table border="1"> <tr> <td>1/16</td> <td>5 限：冬休み課題をグループで共有し、共通点をまとめる 6 限：冬休み課題のまとめを発表 ピア・ティーチングのグループ分け (4 グループ)</td> </tr> <tr> <td>1/23</td> <td>ピア・ティーチング準備 ◆ピア・ティーチング企画書提出</td> </tr> <tr> <td>1/30</td> <td>ピア・ティーチング準備</td> </tr> <tr> <td>2/6</td> <td>ピア・ティーチング準備(授業内で他グループを相手にリハーサル) 2/9 (他グループのピア・ティーチングからの学び) [学びの記録#1] 提出</td> </tr> <tr> <td>2/15 (木)</td> <td>ピア・ティーチング ↓</td> </tr> <tr> <td>2/20</td> <td>(ピア・ティーチングを通じて・他の授業からの学び) [学びの記録#2] 提出 1 年間のまとめプレゼン(個人発表・1 人 3 分) + 質疑応答 "AI で人・社会はどう変わるのか、そこであなたはどのように生きていくのか"⇒3/2 [個人レポート] 提出</td> </tr> </table>	1/16	5 限：冬休み課題をグループで共有し、共通点をまとめる 6 限：冬休み課題のまとめを発表 ピア・ティーチングのグループ分け (4 グループ)	1/23	ピア・ティーチング準備 ◆ピア・ティーチング企画書提出	1/30	ピア・ティーチング準備	2/6	ピア・ティーチング準備(授業内で他グループを相手にリハーサル) 2/9 (他グループのピア・ティーチングからの学び) [学びの記録#1] 提出	2/15 (木)	ピア・ティーチング ↓	2/20	(ピア・ティーチングを通じて・他の授業からの学び) [学びの記録#2] 提出 1 年間のまとめプレゼン(個人発表・1 人 3 分) + 質疑応答 "AI で人・社会はどう変わるのか、そこであなたはどのように生きていくのか"⇒3/2 [個人レポート] 提出
1/16	5 限：冬休み課題をグループで共有し、共通点をまとめる 6 限：冬休み課題のまとめを発表 ピア・ティーチングのグループ分け (4 グループ)												
1/23	ピア・ティーチング準備 ◆ピア・ティーチング企画書提出												
1/30	ピア・ティーチング準備												
2/6	ピア・ティーチング準備(授業内で他グループを相手にリハーサル) 2/9 (他グループのピア・ティーチングからの学び) [学びの記録#1] 提出												
2/15 (木)	ピア・ティーチング ↓												
2/20	(ピア・ティーチングを通じて・他の授業からの学び) [学びの記録#2] 提出 1 年間のまとめプレゼン(個人発表・1 人 3 分) + 質疑応答 "AI で人・社会はどう変わるのか、そこであなたはどのように生きていくのか"⇒3/2 [個人レポート] 提出												
評価方法	冬休み課題として提出済みのレポートにより評価する												
宿題指示	ピア・ティーチングに向けた班ごとのメンバー、テーマ、内容、プレゼン形式の原案を提出												

授業日	1/23(火)	3 学期授業回数	2 回目 / 全 6 回
本時 学習目標	<p>主なターゲット【知識・技能】①②③ 【思考力・判断力・表現力】①②③④⑤【学びに向かう力・人間性】①②</p> <p>本時の具体的な目標</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ピア・ティーチングへの準備を通して、これまでの学びを言語化して資料としてまとめることができる</li> <li>・この準備を通して「AI 活用」の学びの内容、学ぶ理由、目的を適切に説明できる</li> <li>・他の探究授業の生徒とどのような意見交換ができるか考えることができる</li> </ul>		
時間 授業内容	10 分	ピア・ティーチングの目的と企画書作成について意識すべきことの説明	
	90 分	各班ごとにピア・ティーチングで伝えるべき内容のテーマ、発表形式、時間配分、役割分担について 企画書の作成 発表順番の決定	
評価方法	<p>次回の授業にて企画書をもとに、各班ごとに発表内容について報告を行い、互いに疑問点や問題点について指摘を行う。その過程での気づきを学びの記録で提出させて評価する。</p>		
宿題指示	<p>前回より具体的な内容を記した企画書の提出(各班ごと)</p> <p>2 年 AI 活用 2024.1.23 ピア・ティーチングの企画書について</p> <p>&lt;前提&gt; ピア・ティーチングとは…生徒どうして学び(教え)合う学習方法</p> <p>今回の目的</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・これまでの学びを、言語化し、それぞれの発表形式に合わせ、資料としてまとめる。</li> <li>・異なる研究をする人たちに対して、自分たちが行ってきた活動の内容、理由、目的などを適切に説明すること。</li> <li>・異なる視点で研究をする人たちの発表を聞き、自分たちの研究の参考となる新しい視点を得ること。</li> <li>・積極的に意見交換を行い、凝り固まったアイデアを払拭すること。</li> </ul> <p>⇒&lt;意識すべきこと&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・これまでの学びを振り返り、何を伝えるのか(具体的な知識なのか、考え方なのか、考える姿勢なのか etc...)</li> <li>・それを伝える意味、これについて学ぶ意味、なぜ学ぶのか</li> <li>・共通点は「探究」 学び方にも意識を向ける</li> <li>・知識や目的、意味などの伝えたい内容を効果的に伝えられる方法</li> <li>・"積極的に意見交換"という目的を組み入れる</li> </ul> <p>※より具体的にいうと… 単なる AI 関係のキーワードの紹介だけでいいのか、"AI に支配される"という表現はふさわしいのか、"AI による社会の変化"についての自分たちの考えは正しいのか、などを考える必要がある</p> <p>&lt;企画書の内容&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○グループとして伝えたい目的(なぜ学ぶのか)</li> <li>○グループとして伝えたい内容(どんなことを伝えるのか)</li> <li>○どんな方法を用いるのか…プレゼン/ポスター/ワークショップ その方法を採用する理由</li> <li>○構成・時間配分</li> <li>○どんな資料を用いるのか</li> <li>○"意見交換"の取り入れ方</li> </ul>		

授業日	1/30(火)	3 学期授業回数	3 回目 / 全 6 回
本時 学習目標	主なターゲット【知識・技能】①②③ 【思考力・判断力・表現力】①②③④⑤【学びに向かう力・人間性】①② 本時の具体的な目標 ・ピア・ティーチングへの準備を通して、これまでの学びを言語化して資料としてまとめることができる ・この準備を通して「AI 活用」の学びの内容、学ぶ理由、目的を適切に説明できる ・他の探究授業の生徒とどのような意見交換ができるか考えることができる		
時間	45 分	各班ごとにピアティーチングのプレゼン内容江尾企画書をもとに発表する。	
授業内容	90 分	企画書のテーマ、時間配分、役割分担について決定して作業を行う。	
評価方法	次回、班ごとのプレゼンリハーサルにより、取り組みを評価する。		
宿題指示	次週までにプレゼン内容の完成させる		

授業日	2/6(火)	3 学期授業回数	4 回目 / 全 6 回																								
本時 学習目標	主なターゲット【知識・技能】①②③ 【思考力・判断力・表現力】①②③④⑤【学びに向かう力・人間性】①② 本時の具体的な目標 ・ピア・ティーチングへの準備を通して、これまでの学びを言語化して資料としてまとめることができる ・この準備を通して「AI 活用」の学びの内容、学ぶ理由、目的を適切に説明できる ・他の探究授業の生徒とどのような意見交換ができるか考えることができる																										
時間	5 分	次回ピアティーチングの説明																									
授業内容	90 分	各班 20 分で次週行う内容についてプレゼンのリハーサルと発表半へのアドバイス、質問を入力する																									
評価方法	添付のルーブリックを基準に録画した動画より、各班尾プレゼンを評価する。 ピア・ティーチング評価ルーブリック																										
		<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>3</th> <th>2</th> <th>1</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①AI活用の学びを言語化できたか</td> <td>AI活用の学びについてほぼ全てを言語化し、表現できた</td> <td>AI活用の学びについて半分以上は言語化でき、表現できた</td> <td>AI活用の学びについて一部は言語化できたが不十分であった。</td> </tr> <tr> <td>②AI活用について内容、理由、目的を適切に説明できたか</td> <td>内容、理由、目的について適切かつ分かりやすく十分に説明できた</td> <td>内容、理由、目的について半分以上は説明できた</td> <td>内容、理由、目的について一部は説明することができたが十分とは言えない</td> </tr> <tr> <td>③プレゼンでは役割分担が適切であったか</td> <td>全員がプレゼン内容を把握し関わりを持ちながら適切に分担ができていた</td> <td>全員のプレゼン内容の把握が甘いがプレゼン者は分担分を表現できた。分担は適切である</td> <td>全員のプレゼンへの把握ができず。役割分担の偏りがある</td> </tr> <tr> <td>④他の探究授業に対して、問題提起やAI活用の必要性を感じてもらえたか</td> <td>他の探究授業に対して問題提起を含めメッセージを伝えることが十分できた</td> <td>他の探究授業に対して内容の伝達にとどまりメッセージがやや不足していた</td> <td>他の探究授業に対して内容の伝達に留まりメッセージが伝えられていない</td> </tr> <tr> <td>⑤持ち時間の時間配分は適切か</td> <td>時間配分が適切で効果的にプレゼンを行えた</td> <td>時間を少し超えたり不足したが、ほぼ時間の配分は効果的であった</td> <td>時間配分に偏りがあり効果的なプレゼンにならなかった</td> </tr> </tbody> </table>			3	2	1	①AI活用の学びを言語化できたか	AI活用の学びについてほぼ全てを言語化し、表現できた	AI活用の学びについて半分以上は言語化でき、表現できた	AI活用の学びについて一部は言語化できたが不十分であった。	②AI活用について内容、理由、目的を適切に説明できたか	内容、理由、目的について適切かつ分かりやすく十分に説明できた	内容、理由、目的について半分以上は説明できた	内容、理由、目的について一部は説明することができたが十分とは言えない	③プレゼンでは役割分担が適切であったか	全員がプレゼン内容を把握し関わりを持ちながら適切に分担ができていた	全員のプレゼン内容の把握が甘いがプレゼン者は分担分を表現できた。分担は適切である	全員のプレゼンへの把握ができず。役割分担の偏りがある	④他の探究授業に対して、問題提起やAI活用の必要性を感じてもらえたか	他の探究授業に対して問題提起を含めメッセージを伝えることが十分できた	他の探究授業に対して内容の伝達にとどまりメッセージがやや不足していた	他の探究授業に対して内容の伝達に留まりメッセージが伝えられていない	⑤持ち時間の時間配分は適切か	時間配分が適切で効果的にプレゼンを行えた	時間を少し超えたり不足したが、ほぼ時間の配分は効果的であった	時間配分に偏りがあり効果的なプレゼンにならなかった
	3	2	1																								
①AI活用の学びを言語化できたか	AI活用の学びについてほぼ全てを言語化し、表現できた	AI活用の学びについて半分以上は言語化でき、表現できた	AI活用の学びについて一部は言語化できたが不十分であった。																								
②AI活用について内容、理由、目的を適切に説明できたか	内容、理由、目的について適切かつ分かりやすく十分に説明できた	内容、理由、目的について半分以上は説明できた	内容、理由、目的について一部は説明することができたが十分とは言えない																								
③プレゼンでは役割分担が適切であったか	全員がプレゼン内容を把握し関わりを持ちながら適切に分担ができていた	全員のプレゼン内容の把握が甘いがプレゼン者は分担分を表現できた。分担は適切である	全員のプレゼンへの把握ができず。役割分担の偏りがある																								
④他の探究授業に対して、問題提起やAI活用の必要性を感じてもらえたか	他の探究授業に対して問題提起を含めメッセージを伝えることが十分できた	他の探究授業に対して内容の伝達にとどまりメッセージがやや不足していた	他の探究授業に対して内容の伝達に留まりメッセージが伝えられていない																								
⑤持ち時間の時間配分は適切か	時間配分が適切で効果的にプレゼンを行えた	時間を少し超えたり不足したが、ほぼ時間の配分は効果的であった	時間配分に偏りがあり効果的なプレゼンにならなかった																								
宿題指示	本日のリハーサルプレゼンに対して他班からのアドバイスや質問を取り入れて次回のピア・ティーチング用のプレゼンを改善する。 最終回の授業で、個人としてのA I 活用についての総括を 3 分で発表すると同時に、レポートとして提出する。 本日の学びの記録を金曜日までに提出。																										

授業日	2/15(木)	3 学期授業回数	5 回目 / 全 6 回
本時 学習目標	主なターゲット【知識・技能】①②③ 【思考力・判断力・表現力】①②③④⑤ 【学びに向かう力・人間性】①② ----- 本時の具体的な目標 ・ピア・ティーチングの実践を通して、これまでの学びの内容、学ぶ意義、目的を理解・言語化して資料としてまとめ、適切に説明できる ・他の探究授業の発表から、自分たちの研究の参考となる新しい視点を得られる。 ・他の探究授業の発表から、探究的な学びの姿勢について考えることができる		
時間	5 分	ピア・ティーチングの意義、進行、リフレクションシートの説明	
授業内容	95 分	自身の発表(1 回)及び他の探究授業の発表(3 チーム)の見学、リフレクションシート(他チームへのコメント、質問も含む)の記入	
評価方法	ピア・ティーチング専用のリフレクションシート		
宿題指示	ピア・ティーチング専用のリフレクションシートの仕上げ		

授業日	2/20(火)	3 学期授業回数	6 回目 / 全 6 回
本時 学習目標	主なターゲット【知識・技能】①②③ 【思考力・判断力・表現力】①②③④⑤ 【学びに向かう力・人間性】①② ----- 本時の具体的な目標 ・個人で、これまでの学びの内容を振り返って、具体的な学んだ内容だけでなく、そこから自身の関心や問題意識、それに関する考察をまとめることができる ・個人の関心や問題意識を他者に分かりやすく伝えることができる ・個人の関心や問題意識を今後の学びの活動につなげる意識を持つことができる		
時間	10 分	リフレクションシート回収、まとめプレゼンの説明	
授業内容	5 分	まとめプレゼン準備	
	65 分	個人発表(1 人 3 分以内)	
評価方法	プレゼンテーションに対する評価(内容の準備、視覚資料、話し方などのパフォーマンス)		
宿題指示	1 年間の学びを振り返って個人の考察をまとめるまとめレポート作成		